



火の見櫓

(題字は 柴谷八尾市長)

発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722



2007 出初式



消防団のすばらしさ



八尾市消防団長 小角 道男

日ごろ、消防団員の皆様には消防防災の最前線で八尾市民の安全・安心を守るため、奉仕の精神をもってご尽力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、その活動のよき理解者であるご家族の皆様に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、私が八尾市消防団のご推薦を受け、柴谷市長様より消防団長に任命されてから早や3年半が過ぎました。

この間、団員の皆様とともに様々な訓練や式典などに参加させていただき、また、数多くのひととの出会いがありました。体験をさせていただきました。

寒風が吹くなかでの消防出初式、梅雨を控えた水防訓練、夜間の長期に及ぶポンプ操法訓練や規律訓練、そして炎天下の八尾まつり警備、消防大会など、参加するたびに改めて消防の役

割を再認識するとともに、消防団員の熱い心意気を感じております。

白髪まじりの中高年の団員と息子のような若い団員がともに汗を流し、声をかけあいながら訓練する光景を見ておりますと、希薄になったと言われる地域社会がうそのように思われ、消防団のすばらしさに身が震えるときがあります。

現在、本市消防団ではどのようにして団員を確保していくかが最大の問題となっております。

多くの市民に消防の重要性と消防団のすばらしさを知ってもらうことが、問題解決のひとつではないかと考えております。

地域に根ざして人と人とのふれあいを大切にし、「要員動員力」・「即時対応力」という力を持つたすばらしい消防団を展させるため、微力ではありますが今後も努力していく所存でありますので、団員の皆様におかれましては一層のご協力をお願いいたします。

むすびに、団員ならびにご家族皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

大阪府消防表彰式

平成19年3月25日(日)大阪府青少年会館において、平成18年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも消防庁長官表彰をはじめとして、多くの団員が栄えある表彰を受章されました。

【消防庁長官表彰】

○永年勤続章

山本分団 分団長 久田 弘義

【大阪府知事表彰】

○消防勤続功労章

団本部 副団長 畑中 裕昭

○消防功労章

団本部 副団長 高橋 康夫

龍華分団 分団長 岸 孝

志紀分団副分団長 小西 繁夫

【日本消防協会会長表彰】

○功績章

団本部 副団長 向井 正雄

○勤続章

山本分団 班長 村島 友忠

【大阪府消防協会会長表彰】

○功績章

団本部 副団長 小川 清義

○永年勤続章

曙川分団 分団長 奥田 庄司

☆ ☆ ☆ ☆

☆ ☆ ☆ ☆

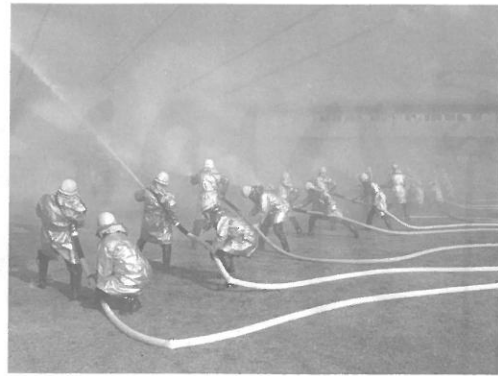
八尾分団 分団長 中村 栄次
山本分団 副分団長 朝田 益史
曙川分団 副分団長 吉川 公三
山本分団 団員 和田 秀之

○勤続章
大正分団 分団長 阪本 俊勝
南高安分団 分団長 松村 康正
八尾分団 副分団長 岩井 孝男
高安分団 副分団長 植田 竹治
山本分団 副分団長 兼子 弘行

○勤功章
南高安分団 副分団長 大西 雅博
南高安分団 副分団長 森山 敏
高安分団 副分団長 辰巳 勝彦
龍華分団 副分団長 辻村 良弘
志紀分団 副分団長 西村 幸雄
西郡分団 部長 小笠原志一

○精勤章
大正分団 副分団長 嶋野 雅一
大正分団 副分団長 平岡 元司
南高安分団 副分団長 坂上 節男
南高安分団 部長 畑中 信浩
南高安分団 部長 山本 雅英
八尾分団 部長 橋本 修
大正分団 班長 内山 芳彦
高安分団 班長 松田 均
志紀分団 団員 中村 博志

消 防 出 初 式



平成19年1月8日(月)大阪府中部広域防災拠点において、消防職員・団員総勢419名、車両33台が参加し、八尾市消防出初式が挙行されました。本年も消防音楽隊を先頭に消防職員・団員、そしてかわいい幼年消防クラブ員による徒步行進が行われ、自動車部隊の行進へと展開されました。本年は例年と異なり消防団徒步行進が分団別で行われ、来賓席の方々にも新鮮に写ったことでしょうか。また観覧の方々にとっても各々の地元消防団という存在を感じて頂く良い機会になったのではない

でしょうか。我々も新しい年のスタートを切るに当たり一層の団結感を感じることができました。そして市長の言葉、団員への表彰式が執り行われ、訓練披露、一斉放水へと進み出初式は幕を閉じました。いざれ起こりうるであろう可能性の高い大地震に備え、又非常時の出場そして何より日々の防災活動と心を新たに引き締めた一日となりました。最後に消防職員・団員の皆様におかれましては、寒い中ご苦労様でした。

久宝寺分団 正脇

名 物 団 員

今回紹介させていただくのは、高安分団の小西部長です。

小西さんは高安分団の会計をされ備品の購入や地区の行事によつて団員の弁当、飲物の手配と忙しくされています。

そんな日々の中、家庭においても良きお父さんであり、夫であると思います。

小西さんは趣味も多く学生時代はテニスをされ、今はソフトボールチームに所属されピッチャーをされています。

私も同じチームで共に楽しんで来ましたが最近はお互い思うように体が動かさず歯痒い思いをしています。

小西さんのもう一つの趣味はパチンコで成績は店が勝つたり、小西さんが負けたりだそうです。

最後になりますが、これから本業、ライフワーク、消防団活動に頑張ってください。

高安分団 西野秀



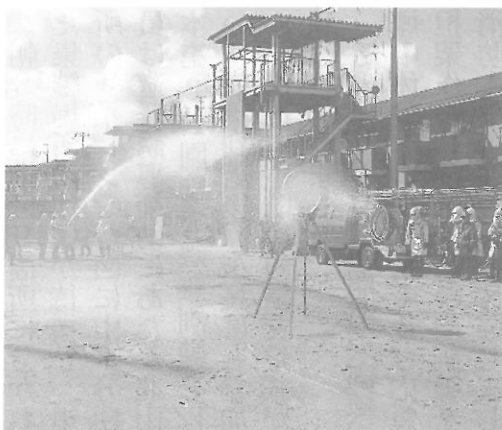
ポンプ操法訓練

平成19年3月11日(日)消防本部屋外訓練場にて、平成18年度のポンプ操法訓練が実施されました。

この訓練は、毎年度行われているもので、今年度は消防車の後部に積載されている絡車(ホースカー)を使用している消火活動という内容でした。

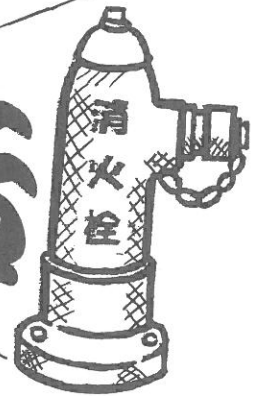
当日は発達した低気圧の通過後で、西高東低の冬型の気圧配置となり、かなり強い北西風が吹く最悪の状況でしたが、それは訓練には好都合で火点の的をなかなか落とせない状況を体験できました。

大正分団 松本・乾





分団活動報告



久宝寺分団

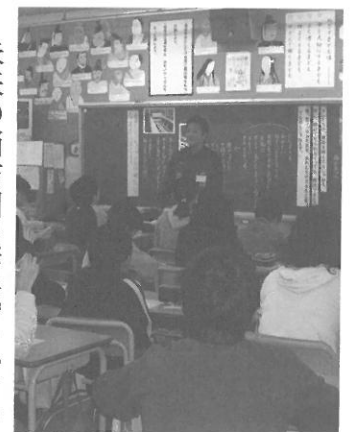
道徳教育研究大会への参加

平成18年11月28日(火)文部科学省から委嘱された道徳の教育研究大会が久宝寺小学校で行われました。全国から多数の教育関係者が訪れ、各クラスで道徳の授業を参観されました。

我々久宝寺分団は、6年生の「大切な命」という主題の授業に各クラスのゲストティーチャーとして三名参加させていただき、身近な地域で大切な命を守る活動をしている者としてお話をしました。

授業の全体の中身は、人命救助に関わった二つの新聞記事から命の大切さについて考えるというもので、我々は、消防団についての説明と、火事の恐ろしさ、そして子ども達に自分の大切なもの、守りたいものを考えてもらいました。

当初は、「大変なことを引き受けてしまったなあ」と思いましたが、終わってみると消防団活動の事を直接子ども達に話せた事は非常に良かったのではないかと思います。



未来の消防団員育成と小さい頃から消防団活動を理解してもらう意味からもこれをきっかけに小学校とも連携できればと感じました。

岡井

山本分団

北山本自主防災訓練

平成18年11月3日(金)北山本地区自主防災訓練が行われ、三連休の初日にもかかわらず、地域住民約500名の参加があり防災意識の高さを実感しました。



朝8時に地区9箇所に分かれた集結場所に住民が待機し、屯所のサイレンを合図に山本分団員は避難誘導補助にあたり北山本第2公園まで避難訓練を行い、公園到着後、市長にも参加いただき自主防災組織発足式が執り行われました。

その後参加者は初期消火訓練、煙中体験、ロープ結索及び応急担架作製体験、応急手当訓練を消防本部指導のもと体験しました。特にスモークマシンにより煙を充満させたテント内を避難する煙中体験は、煙中内の怖さと煙の苦しさを実感しました。

最後に久田分団長指揮のもと団員は小型ポンプ車2台で火災延焼を防ぐ水幕ホース訓練と放水訓練を行い、自主防災訓練を終了しました。

当日朝に小さな地震もあり、参加者は熱心に訓練を行い、いつくるかわからない災害に備え防災に対する知識と意識を十分に体感でき、組織として行動することが自分や家族の安全が守られ、また、近隣住民の協力が助け合いがないと大規模な災害に対処できないことを再確認でき、とても有意義な1日でした。

向井大

大正分団
**甲府地区消防
 視察研修報告**

大正分団は、平成19年1月20日(土)～21日(日)にかけて、山梨県甲府市へ八尾市消防団では初めての試みである他府県消防の視察研修を行いました。先ずは甲府市消防団東分団を訪問し屯所を見学しました。屯所は2階建て、会議室・休憩室・台所にバストイレ付き、乾燥ポール(ホース干し)は電動、装備はチェーンソー・発電機・小型ジャッキにジェットシューター・ホース巻機、高そうな外套(防火服)が並び消防車は普通ポンプ車の四輪駆動車とかなり充実しており消防団と地域の災害活動時に対する備えや取り組み、考え方の違いに愕然としました。

続いて甲府地区広域行政事務組合消防本部・甲府南消防署の高機能消防指令センターを見学しました。通信指令室は、4名で最新のパソコン技術を駆使し迅速かつ的確に対応しており、前方に多目的表示盤2面・車両運用表示盤2面・総合情報表

示盤と並び圧倒されるような感じでした。消防団員への指令も携帯メールで地図が添付されており、現場がいち早く解るような仕組みになっていました。

これらを見て、八尾市消防団の防災対策を再考する必要性を強く感じ有意義な視察研修でした。

松本・乾



南高安分団
林野火災訓練

平成18年11月5日(日)恩智総池周辺において、南高安分団と消防署による合同林野火災訓練を実施しました。

訓練想定は、最初の火点からの飛び火により対岸に別の火点が発

生。長い距離のホース延長が必要な為、迅速な消火活動を行わなければならないものでありました。

近年南高安地区においては、

林野火災はなく、我々団員にとつては本番さながらの訓練になるのは、必然でありました。

訓練が始まると、消防署の方々をはじめ、消防団員各々がもてる知識と体力を最大限駆使し、素早い消火活動を行えたと思います。

松本・乾

訓練が終了したばかりの汗だくの団員達が、即座に反省を語り合う姿には、同じ分団の仲間として大変誇りに思い、皆の責任感の強さには感服の一言に尽きました。

これからも南高安分団一同、このような訓練で得た知識を更に磨き、地域の皆さんに信頼されるよう頑張っていきます。

小林

小林



八尾分団
秋祭り警備



平成18年10月7日(土)8日(日)萱振地区の加津良神社にて、秋祭りが行われ八尾分団が交通整理のため参加しました。神社には御輿と布団太鼓が一つずつあり萱振地区を終日行進しますが、萱振農協交差点から八尾北高校バス停前交差点の南北約600mの道路を進行のため終日、通行止めになります。普段交通量の多い道路を通行止めにするので、利用するドライバーからの理解を得るのは大変で毎年苦勞が絶えません。その役目を私達消防団が担っております。普段は目立たない存在でありますが、祭りを同じ地域に消防団の存在を理解してもらおうよい機会になっていきたいと思います。

川崎

文化財訓練

去る平成19年1月25日(木)に市民の財産である文化財を火災からまもるための訓練が玉祖神社において行われました。

「玉祖神社は、歴史が古く国の重要文化財や府指定天然記念物の楠の大木などがある。」

訓練は、消防本部・消防団並びに神社関係者により行われ、神社本殿や山林への延焼防壁、文化財保護等、本番さながらの緊迫した訓練でした。

このような訓練を通して、文化財の大切さを市民一人一人に広めていきたいと思いました。

高安分団 中谷



歳末特別警戒激励巡視

平成18年12月29日(金)八尾市全域で消防職・団員による歳末警戒が実施されるなか、消防署の6署所、消防団全分団の22機械器具置場の計28箇所に対して消防長・団長の激励巡視が行われました。

当日は20時から曙川分団へ向けて消防本部を出発したのを皮切りに、最終の南高安分団へは、日付が変わった深夜1時前の到着となりました。

当西郡分団へは、22時30分頃に到着され、寒い中でしたが、団員が積載車前に毅然と整列後、団長から一年を振り返ったの労いと新年に向けて身の引き締まるお言葉をしていただき、今後も団員が一致団結のもとで地域の安全を守る気持ちを再確認しました。

その後、皆が無事に新年を迎えることができるように願いながら積載車で夜遅くまで防火広報パトロールを実施しました。

西郡分団長 竹口登

歳末警戒実施中

歳末高齢者ひとり暮らし防火診断訪問



平成18年12月2日(土)亀井出張所消防職員と一緒に龍華消防団員2名が管轄内の高齢者ひとり暮らし宅6軒を訪問し、火の元や暮らしぶりを点検させていただきました。

幸い近所に親類や家族の方が日々見に来られたり、お世話をされているとの事で、万が一災害が起こったときには、すぐに避難できるようですが、一人では災害に気付かず逃げ遅れる事が考えられますので、消防団として常に気に留めておき、近隣地区の現場出場の際には直ちに当該宅を訪問し安全確保を優先しなければと再確認致しました。

又、火災を起こさない環境作りを地域住民に啓発していく事も地域に密着した消防団の任務と改めて感じました。

龍華分団 辻村

消防団員指導員研修会

平成19年1月26日(金)大阪府立消防学校において、消防団員指導員研修会、防災担当課程が開催されました。当日は平日にも関わらず、大阪府下42市町村の消防団から代表者が出席し、主に次の項目について講義、実習を受講しました。

①規律訓練：団員を諸制式に熟練させ、その部隊行動を確実軽快にし、厳正な規律を身に付けさせ、消防諸般の要求に適応させるための基礎を作る事を目的とする。

②救命講習：平成18年6月、心肺蘇生委員会より示された、「日本版救急蘇生ガイドライン」に基づき、AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法の実習。

近年、地震、台風、豪雪等の自然災害や、列車脱線事故の発生など多様化、大規模化する災害や事故により、住民の安心、安全を脅かす大きな被害が生じている事は、記憶に新しいところです。この様な災害に際し、今回の研修内容を再認識し、消防団の使命、責任を改めて痛感した次第です。

南高安分団長 松村康正

秋季消防総合訓練

平成18年11月7日(火)新田ゼラチン大阪工場において、秋季消防総合訓練が実施されました。当日の訓練は工場内部からの出火、負傷者数名という想定で、本番さながらの緊迫した雰囲気の中、消防本部・志紀分団・企業の自衛消防隊が連携し、負傷者の救出・救護、消火訓練、避難誘導訓練等が行われました。



今回、普段の訓練とは違い、初めは戸惑いながらも、訓練が進んで行くにつれて、皆がキビキビとした動きで、各持ち場、役割を全うすることが出来ました。

今回の訓練で得たものを分団へ持ち帰り、団員皆で話し合う事で全員が防火意識を高め、今後日々の消火活動や災害時に、消防本部との連携を緊密にし、地域の安全を守り、安心して暮らせる町作りに消防団活動を通して貢献して参りたいと考えております。

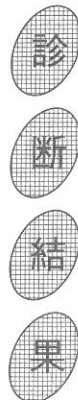
志紀分団 松本健

健康が一番

平成18年11月11日(土)消防本部において、健康診断が行われ団員250人中135人が受診されました。まずは、健康でなければ、仕事も消防団活動も出来ません。しかし、半数近くの方が受診されておらず、次回は時間を作って受診してみてください。

診断の結果68.9%の方が何らかの異常がみられており、病気は予防及び早期治療が大切です。健康診断の結果を参考に、日頃の生活習慣を見直していただきたいと思えます。

曙川分団 小瀧



- 受診者 135名 (54%)
- 受診者の内訳
 - A- 14名 正常
 - B- 28名 ほぼ正常
 - C- 33名 要経過観察
 - D- 20名 要再検査
 - E- 19名 要精密検査
 - G1- 20名 治療中
 - G2- 1名 経過観察中
- 所見別
 - 1 血中脂質 41名
 - 2 肝機能 20名
 - 3 血圧 38名
 - 4 血糖 9名

ボウリング大会

平成18年10月21日(土)に消防団厚生事業の一環として、八尾ボウルアローにおいて、小角団長以下160名の参加で恒例のボウリング大会が、盛大に行われました。

小角団長の始球式が始まり、上位入賞をめざしスコアメイクに専念する者、ストライク命と力いっぱい投球する者、日ごろの実力を出せなかった者、それぞれ白熱した楽しいひと時を過ごしました。

上位入賞された方々は次のおお喜びです。おめでとうございます。

- 1位 山本分団 向井 大二
- 2位 大正分団 松本 徹
- 3位 南高安分団 大西 雅博
- 団長賞 南高安分団 山口 泰憲



山本分団 堤下

春季消防総合訓練

平成19年3月7日(水)アリオ八尾にて消防署69名、八尾分団7名、施設関係者約200名、総勢約276名が参加し消防総合訓練が行われました。

訓練は開店前の9時から9時30分の間で行われ3階飲食店より出火し、逃げ遅れ者が多数発生という想定のもと、①施設内の避難誘導②救急隊による応急救護所(エアートント)の設営③ハシゴ車による4階、5階からの逃げ遅れ者の救出及び隊員の緊急脱出④大阪市消防局へのリコプターによる上空からの出火場所の確認と隊員のリペリング降下、最後に消防隊と消防団による正面入口での放水とかなり大規模な訓練でした。



行かれた方も多と思いますアリオ八尾ですが八尾市内の商業施設としては一番大きく総売場面積15万188㎡、甲子園球場の約4倍、畳では9万枚の広さがあり、週末売場には2万人以上が買い物をしています。単純計算すると4畳半に1人いるということになります。

消火に対する設備は整っているとはいえ、これだけ大きな施設では来客者の避難誘導及び救助活動は大変だと感じました。

八尾分団 岩崎

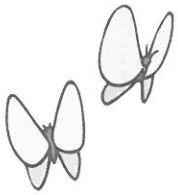
若なる会親睦旅行

若なる会親睦旅行を平成19年2月24、25日に行いました。警防課の方にも参加していただき、総勢19名で、消防本部より三谷温泉に向け出発しました。途中、トヨタ博物館を見学すると、館内には国内外、メーカーを問わず多くの自動車が展示されておりました。私達が若い頃憧れていた車もあり、皆大いに話に花が咲きました。

その後、高速から名古屋港を見下ろすと、埠頭にはトヨタの車が地面を埋め尽くさんばかりに並び船積みを待つ、その光景は圧巻でした。

ホテル三河海陽閣に宿泊し、ゆっくりと語り合うことの出来た2日間、疲れを癒し、親睦を深めることができました。

八尾分団長 中村栄次



◎広報部員名簿◎

委員長	八尾分団	岩崎 弘純
副委員長	龍華分団	辻村 良弘
	南高安分団	畑中 喜幸
委員	久宝寺分団	岡井 淳治
	西郡分団	正脇 勝博
	八尾分団	小笠原 志一
	龍華分団	嶋林 正雄
	大正分団	川崎 孝司
	曙川分団	橋田 滋基
	南高安分団	乾田 和仁
	高安分団	松本 徹
	山本分団	濱口 好之
	志紀分団	小瀧 有洋
		小林 久男
		杉田 晃一
		西野 秀一
		中谷 富巖
		堤下 富彦
		塚尾 誠一
		西村 輝彦
		西川 知広

編集後記

おかげさまで第19号も無事発刊することができました。消防団の活動を一般の方々が知ることのできる資料として活用していただければ幸いです。

次回も宜しくお願いします。